

事務事業調書

平成27年度

事業No	930	課	国保年金課	係	国保係	起案者	水野敦史
						決裁者	早川智光
事務事業名					特定健康診査等事業	事業種別	市民サービス

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 3 社会保障 3 国民健康保険・国民年金 2 保健事業の推進 1 保健事業の推進			予算科目(会計)	国民健康保険事業特別会計
				予算科目(款・項・目)	25-3-5
				総合計画以外の計画	
				関連する総合計画の施策	
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの
根拠法令	有	高齢者の医療の確保に関する法律			
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	無				
陳情・市民要望	無				
実施方法	全部委託	委託先	行政関連団体		
実施期間	開始	平成20年度	経過	7年目	終了
求める成果(目的)	誰(受益者)が	特定健康診査・特定保健指導の対象者が		~になる	健診・指導を受け、健康な生活を送る。
事務事業の内容	40歳以上の被保険者に対して保険者が行う生活習慣病に着目した特定健康診査及び特定保健指導を健康推進課に委託し実施します。				
改善・対策の履歴	平成20年度から実施が義務付けられました。				

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	84,024	85,711	135,129	122,340	146,296	
財源計	82,134	83,821	133,239	120,450	144,406	
財源の内訳	国庫支出金	19,898	16,601	23,500	20,888	24,000
	県支出金	16,327	16,424	23,500	21,521	24,000
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	45,909	50,796	86,239	78,041	96,406
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	特定健診の未受診者に受診勧奨を送付	見込	20,000.00	18,000.00	19,000.00	20,000.00
			実績	18,965.00	19,261.00	22,341.00	
	指標名 (単位)	件数(件)	活動の総事業費(千円)	1,018	1,023	1,083	
			活動にかかるコスト(千円)	0.05	0.05	0.05	
活動2	活動名 (活動内容)	PRチラシの作成配布	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費(千円)	63	63	63	
			活動にかかるコスト(千円)	63.00	63.00	63.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	特定健康診査の実施率(%)			目標	65.00	43.00	47.00	51.00
				実績	39.60	42.00	40.60	
	目標達成年度	平成29年度	目標成果指標値	60.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2	特定保健指導の実施率(%)			目標	45.00	20.00	30.00	40.00
				実績	13.00	14.40	19.20	
	目標達成年度	平成29年度	目標成果指標値	60.00	達成状況	未達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	勤務先など市以外で実施している健康診査の結果を提供していただくケースもあります。平成26年度はFMラジオに出演し、受診勧奨のPRを行いました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	活動実績は、ほぼ横ばいのため、コストに大きな変動はありません。
成果	特定保健指導および特定健康診査は目標未達成であるため、今後、効果的な受診率向上対策が必要です。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
健康推進課との連携強化を図ることにより、効果的な受診勧奨を行い、受診率の向上に努めます。また、特定検診キャンペーンを実施し、受診率の向上に努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	被保険者の健康増進と医療費適正化のため継続実施します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	325	課	国保年金課	係	国保係	起案者	水野敦史
						決裁者	早川智光
事務事業名		健康増進事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり		予算科目(会計)		国民健康保険事業特別会計	
	3 社会保障		予算科目(款・項・目)		25-5-5	
	3 国民健康保険・国民年金		総合計画以外の計画			
	2 保健事業の推進		関連する総合計画の施策			
	1 保健事業の推進		性質区分		法律などで実施が義務付けられているもの	
根拠法令	有	国民健康保険法第82条第1項				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業, 行政関連団体			
実施期間	開始	経過	終了	期間		
求める成果(目的)	誰(受益者)が	国保の被保険者が		~になる	健康増進に取り組み、医療機関で受診する機会が減少する。	
事務事業の内容	医療費通知の送付、ヤング健診などの事業により、被保険者の健康の保持増進に努めます。また、ジェネリック医薬品の利用促進や重症化予防により医療費の適正化に努めます。					
改善・対策の履歴	40歳以上の人間ドックの委託は、特定健康診査を兼ねることとし、特定健康診査等事業に移行しました。平成23年度はジェネリック医薬品の差額通知を1回送付しました。平成24年度はジェネリック医薬品の差額通知を2回送付しました。平成25年度はジェネリック医薬品の差額通知を4回送付しました。平成25年度までで保健センターにおける人間ドックは終了しました(30・35歳への無料券配布も廃止)。平成26年度からは20~39歳を対象にヤング健診を開始しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	10,094	10,544	22,907	14,490	31,313	
財源計	8,204	8,654	21,017	12,600	29,423	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	300
	一般財源	8,204	8,654	21,017	12,600	29,123
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	医療費通知の発行	見込	108,000.00	110,000.00	111,000.00	117,000.00
			実績	109,523.00	110,476.00	110,540.00	
	指標名 (単位)	医療費通知の発行件数(件)	活動の総事業費 (千円)	4,022	4,424	4,172	
			活動にかかるコスト (千円)	0.04	0.04	0.04	
活動2	活動名 (活動内容)	ジェネリック医薬品に切替えた場合の自己負担差額通知	見込	2,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00
			実績	1,988.00	4,646.00	3,621.00	
	指標名 (単位)	差額通知の発行件数(件)	活動の総事業費 (千円)	350	403	383	
			活動にかかるコスト (千円)	0.18	0.09	0.11	
活動3	活動名 (活動内容)	ヤング検診を実施する	見込	0.00	0.00	0.00	650.00
			実績	0.00	0.00	691.00	
	指標名 (単位)	ヤング検診の受診者数(人)	活動の総事業費 (千円)	0	0	6,854	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	9.92	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	ヤング健診(平成25年度までは人間ドック)を受診する人数(人)			目標	1,000.00	1,000.00	300.00	650.00
				実績	244.00	233.00	691.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	達成	
成果2	ジェネリック医薬品の利用率(数量ベース)(%)			目標	0.00	50.00	58.00	60.00
				実績	0.00	53.40	61.90	
	目標達成年度	平成30年度	目標成果指標値	60.00	達成状況	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	健康に関する広報折込チラシ等を配布することにより、健康増進の意識の向上を図りました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	ジェネリック医薬品の差額通知発行件数が減少したため、コストが微増しました。
成果	ジェネリック医薬品の差額通知や広報折込チラシ等により、ジェネリック医薬品の利用率が向上し、医療費の適正化に寄与しています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
ジェネリック医薬品の差額通知や医療費通知を継続し、医療費の適正化を図ります。データヘルス計画を策定し、被保険者の健康増進につなげます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	今後も被保険者の健康増進及び医療費の適正化のため、取組みを継続していきます。